浅間山周辺の地殻変動*

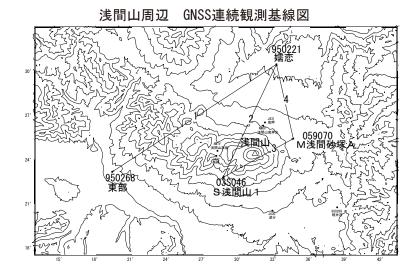
Crustal Deformations around Asama Volcano

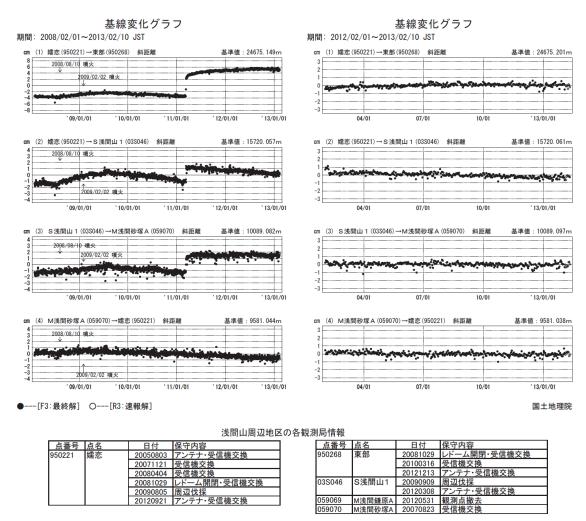
国土地理院

Geospatial Information Authority of Japan

第1図は、浅間山周辺における GNSS 連続観測結果である。第1図上段に浅間山周辺の基線の配置を、中段にそれらの基線における辺長変化の時系列グラフを、下段に図中に表示されている観測点の整備の履歴を示した。中段の時系列については、左側に 2008 年 2 月から 2013 年 2 月の約5年間を、右側に 2012 年 2 月から 2013 年 2 月までの約1年間を拡大して示してある。 2008 年 8 月頃から伸びの傾向が見られていたが、2009 年 4 月以降はその傾向が鈍化し、2009 年 7 頃からは停滞傾向となった。 2009年秋頃からは縮みの傾向が見られていたが、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震に伴ってステップ状の伸びの変化があり、(1)「嬬恋」-「東部」ではその後も余効的な伸びの変化が次第に減衰しながらも続いている。(4)「M浅間砂塚」-「嬬恋」ではこの2年間、わずかに縮みの傾向が続いている。

第2図は、浅間山周辺の GNSS 観測点における水平変動ベクトル図である。図の南西部に位置する電子基準点「東部(950268)」を固定点として水平変動ベクトルを示した。基準期間を 2012 年 1 月 1 日からの 10 日間、比較期間を 2013 年 1 月 1 日からの 10 日間にとった 1 年間の変動を示したものである。広域的な傾向として、東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響により東西方向の伸張はあるものの、浅間山自体の膨張・収縮などは確認できない。





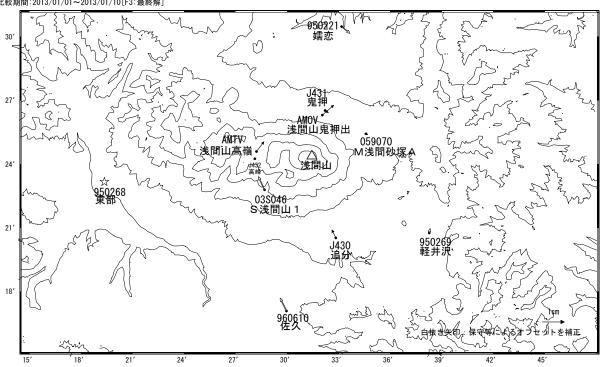
※R3: 速報解は暫定、電子基準点の保守等による変動は補正済み

第1図 浅間山周辺の GNSS 連続観測結果 (上段:基線図、中段:基線長時系列 (左列) 2008 年 2月 ~2013 年 2 月、 (右列) 2012 年 2 月~2013 年 2 月、下段:整備履歴)

Fig.1 Results of the GNSS continuous observation network around Asama Volcano; (upper) Site location map, (middle) Time series of baseline length (left) from February 2008 to February 2013, (right) from February 2012 to February 2013; (lower) History of site maintenance.

浅間山周辺の地殻変動

基準期間:2012/01/01~2012/01/10[F3:最終解] 比較期間:2013/01/01~2013/01/10[F3:最終解]



☆ 固定局:東部(950268) 国土地理院

- ※電子基準点の保守等による変動は補正済み
- ※図中「浅間山高嶺 (ATKV)」、「浅間山鬼押出 (AMOV)」は防災科学技術研究所の観測点、「鬼押 (J431)」、「追分 (J430)」は気象庁の観測点である。

第2図 浅間山周辺における GNSS 観測点の水平変動ベクトル図 (2012年1月~2013年1月)

Fig.2 Horizontal displacements of GNSS continuous observation sites around Asama Volcano; (January 2012 to January 2013).